

聖路加国際大学大学院看護学研究科教授
山田 雅子

到達目標

グループワークをすることによって、自地域の現状・課題を整理し、自地域における訪問看護師の量的・質的確保など課題解決の方策について考え共有することができる。各地域に共有する課題を検討する。

概要

● 学ぶ内容

自地域における訪問看護の量的・質的確保に関する課題の抽出及び共有

[テーマ]
地域における訪問看護の
現状と課題
~本当に支えていますか~

聖路加国際大学大学院看護学研究科
山田 雅子

改めて、
地域包括ケアシステム

地域包括ケアシステムの構築について

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**医療・介護・予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現。**
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差。**
- 地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要。**



このイメージ図の中の、訪問看護の立ち位置はどこにあるでしょう。

居宅系サービスの一つではありますが、その機能は、人々の「暮らし（図中では住まいと置き換えて考えてください）」と「医療」を塩梅よくつなぎ合わせる場所にまで及び、もっと言えば、白い楕円で示されている地域そのものの中で、人々が幸せに暮らしていけることを目指して包括的に機能することができるのではないのでしょうか。

進化した植木鉢の図

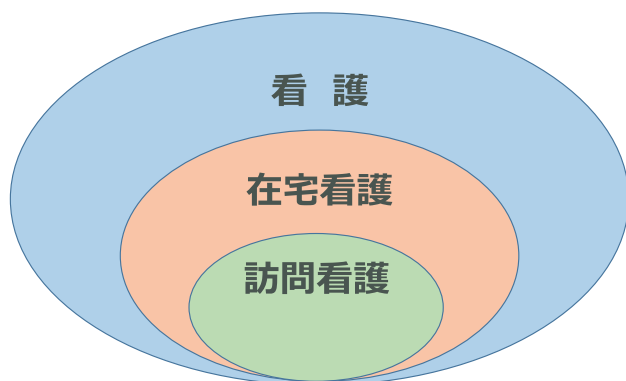


三菱UFJリサーチ&コンサルティング「＜地域包括ケア研究会＞地域包括ケアシステムと地域マネジメント」（地域包括ケアシステム構築に向けた制度及びサービスのあり方に関する研究事業）、平成27年度厚生労働省老人保健健康増進等事業、2016年

であるならば、この植木鉢の図の中の看護は、一枚の葉にすぎませんが、お皿から鉢を作り、土壌を整えることも含めて、「在宅看護の実践」として広げて考えることが可能です。

在宅看護と訪問看護

・在宅看護 ≠ 訪問看護



私たちは今回、「訪問看護」を切り口に地域包括ケアシステムづくりを推進していこうと考えているところですが、そもそも、訪問看護事業所が提供している看護サービスで、「住み慣れた地域で、ほぼ在宅、時々入院」が実現できるのでしょうか。訪問看護事業所は、地域にも病院にも自由闊達に足を踏み込むことができます。どちらの事情にも精通することができるわけです。介護保険事業所にもです。ですから、私たちが目指すところは、訪問看護の業務を超えて、その地域における看護全般に目を向け、その地域の実情に応じて最善の地域包括ケアシステムとは何であるのかということに目を向けることができるはずです。

看護の概念の関係性を図示します。

私たち「訪問看護」は、病気や障がいにとらわれずに、皆が地域で暮らすことができるように、いろいろな活動を行います。その活動の総体を「在宅看護」ととらえるなら、病院での「退院支援」や「外来看護」も在宅看護を担っていると考えることができます。そしてもっと言えば、そもそも「看護」はその人のセルフケアを促す活動を扱いますから、私たちは、訪問看護事業所に勤務しながらその「地域を看護している」ということにつながるでしょう。

まずは「訪問看護」の現状を知り、それを切り口にして地域に分け入っていくことを考えてみましょう。

地域にインパクトを与えた政策 (例として)

訪問看護の実践家たちが、過去に地域包括ケアシステムにインパクトを与えた取り組みについて紹介します。

看護小規模多機能型居宅介護



山田雅子他（2014）. 映像で感じ、考える、これからの在宅看護論 第5巻 さまざまな看護の実践, ビデオ・パック・ニッポンより

看護小規模多機能型居宅介護事業所です。

訪問看護が小規模多機能と合体することで、幅広い人が複合的なサービスを柔軟に受けることができるようになりました。

看護は、点ではなく線でかかわることで、その方の生活支援の質を上げることに繋がります。

暮らしの保健室



山田雅子他（2014）. 映像で感じ、考える、これからの在宅看護論 第5巻 さまざまな看護の実践, ビデオ・パック・ニッポンより

高齢化が進んだ団地の一室で、訪問看護師の秋山正子氏が活動を始めました。

人々の生活とともにある看護の実践です。

そこでは多様な人々が相談に訪れ、多様な人々が学び、生活の中の一步を踏み出し始めています。これをモデルとして多様な地域で展開され始めています。

東京都訪問看護推進部会

設置目的

- 地域包括ケアシステムを構築し、要介護高齢者等が最後まで安心して在宅療養生活を送るためには、関係機関及び関係職種が連携した24時間365日の在宅療養生活支援と在宅看取りが必要であり、訪問看護はその中心的役割を担う
- そこで在宅療養推進会議の下に本部会を設置し、訪問看護推進総合事業の実施方法の検討・評価を行うとともに、中長期的な対策も含め、今後の支援策について検討をする

それから、私が参加した東京都の例に触れておきましょう。

東京都は、これからさらに人口が急速に高齢化し、特に高齢者独居世帯の急増が見込まれています。

こうした背景から、訪問看護の質・量の確保は待ったなしの解決すべき課題であったため、東京都在宅療養推進会議の下部組織として訪問看護推進部会が位置づけられました。

部会長の任を担った経験から、こうした会議の持ち方のポイントについて簡単に触れておきます。

平成27年度 東京都訪問看護推進部会の取組について 資料 8-1

■ 設置目的

- 地域包括ケアシステムを構築し、要介護高齢者等が最後まで安心して在宅療養生活を送るためには、関係機関及び関係職種が連携した24時間365日の在宅療養生活支援と在宅看取りが必要であり、訪問看護はその中心的役割を担う。
- そこで在宅療養推進会議の下に本部会を設置し、訪問看護推進総合事業の実施方法の検討・評価を行うとともに、中長期的な対策も含め、今後の支援策について検討をする。

■ 平成27年度 委員名簿

氏名	所属
杉山 正平	株式会社ケアーズ 総合訪問看護ステーション 統括所長
村上 幸輔子	公益財団法人福祉施設協会 在宅医療センター 在宅看護部長
上野 高平	東京都立大付病院 看護部看護科長
増原 知代子	東京大学医学部附属看護学部 教授
藤吉 真理子	地方独立行政法人東京都健康増進センター 看護部長
物本 英	群馬県医師会 会長
野中 潤	東京都介護福祉保健局 介護福祉課長
野田 智恵	株式会社 看護ソリューションズ 主任介護支援専門員・看護士
平野 雅夫	公益財団法人日本訪問看護協会 東京都訪問看護ステーション 統括所長
廣田 祥子	公益財団法人東京都福祉会 専任理事
矢野 正人	新設独立行政法人東京都建設局 都市保健課長
◎ 山田 穂子	慶応義塾大学看護学部 教授
中島 秋津	東京都福祉保健局 在宅医療推進課長
新妻 高和	東京都福祉保健局 在宅医療推進課 地域連携推進員
橋 幸智子	東京都福祉保健局 在宅医療推進課 介護保険課長

◎ - 監査委員(5人中3名)

オブザーバー(東京都在宅療養推進会議 会長)

新井 隆夫	医療法人社団つくし会 理事長
-------	----------------

■ これまでの経緯

平成24年度 東京都訪問看護支援検討委員会での検討

- ① 東京都の訪問看護の実態把握と課題の分析
- ② 今後の訪問看護の人材確保・支援策について
- ③ 新任訪問看護士の確保・定着に向けたQ/Tマニュアルの策定

↓

① 東京都訪問看護
支援検討委員会報告書

② 7つの約束

③ 訪問看護
Q/Tマニュアル

平成25年度 訪問看護推進総合事業の開始

■ 平成27年度 スケジュール

開催日時	主な検討事項
第1回 H27.6.22	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成27年度訪問看護推進総合事業の取組について (報告) 2 平成26年度訪問看護推進総合事業の実施状況について (報告) 3 平成27年度訪問看護推進総合事業の実施について (報告) 4 今後の訪問看護推進に向けた支援策について
第2回 H27.8.7	<ol style="list-style-type: none"> 1 平成27年度訪問看護人材確保事業 (訪問看護フェスティバル) (報告) 2 平成27年度東京都訪問看護推進総合事業の取組について (報告) 3 平成26年度訪問看護推進総合事業 (専) について 4 平成26年度訪問看護ステーション事業について 5 訪問看護人材確保に向けた新たな取組について
第3回 H28.2.7	<ol style="list-style-type: none"> 1 訪問看護フェスティバルの実施について (報告) 2 平成27年度訪問看護推進総合事業の取組状況について 3 平成26年度訪問看護推進総合事業 (専) について 4 新任訪問看護士の確保事業 (専) について

■ 訪問看護人材確保育成事業

1 地域における訪問看護師育成支援

○ 地域における教育ステーション事業

認定訪問看護師相当の指導者がいる育成支援ができるステーションが、地域の育成支援を要するステーションのニーズに応じた同行訪問による指導・助言を行うことにより、地域の訪問看護人材を育成支援

(例示：イメージ)

- ① ステーション体制の受け入れ
- ② 地域の新任訪問看護師等の育成支援・相談（同行訪問等の実施）
- ③ 合同カンファレンス等による利用者を通じた相互交流等

イメージ図



2 訪問看護のPR・人材の確保

○ 訪問看護人材確保事業

認知や看護職等に訪問看護の必要性や重要性、その魅力をPRし、在宅療養を支える訪問看護の理解促進と人材確保を図るため、講演会やシンポジウム等を開催（0427.110：総庁5F大会議場）

3 管理者・指導者の育成支援

○ 管理者・指導者育成事業

人材育成も含めた人的資源管理、継続的にも定めた事業所運営を行える管理者を育成するとともに、管理者層士のネットワーク構築の推進を図るため、管理者等に対する研修を実施

○ 認定訪問看護師資格取得支援事業

訪問看護の実践と相談・指導ができる看護師の育成を支援し、労働意欲の向上、定着の促進、看護職員全体の質の向上の推進を図るため、事業所等に対し資格取得を支援

4 中・長期対策を含め多角的・総合的に検討

○ 東京都訪問看護推進部会

東京都在宅療養推進部会の部会として、一体的に在宅療養の推進を検討

■ 訪問看護師勤務環境向上及び訪問看護師定着推進事業

5 勤務環境向上及び定着推進

◆ 訪問看護師勤務環境向上事業及び訪問看護師定着推進事業

訪問看護師の勤務環境の向上や定着を促進するため、一定の条件のもと、研修や産休・育休・介護休業等を取得する際の代替雇用確保を支援（常勤訪問員人材増のステーション）

看護を取り巻く世界の見え方「過去-現在-未来」
(私見です)

30年程前	現在	20年後
家族指導型の看護	患者指導が通用しなくなってきた	患者指導は通用しないので・・・
病気は病院で治す	病気は地域で治し、支える	病気は地域で予防する
病棟は、患者の生活の場	病棟は治療の場	病棟は初期治療の場
医師が立てた治療計画に従うのが患者	医師任せの患者と医師に指示する患者	地域を共有する医療者と人々が共に考える医療

訪問看護も過去をさかのぼれば江戸時代に行きついてしまいますが、共助としてのシステムに組み込まれた約30年前から振り返ってみると、大きくその役割を変えながら発展してきました。

歴史を紐解けば、その時代時代に即した看護の在り方を先導してきたのは常に訪問看護です。

訪問看護の特徴は住民の近くに、住民目線で存在するという事です。その強みを生かして、20年先の看護を考えてみましょう。

グループワーク①

ようこそ！ワールドカフェへ！

- 正解のない課題に向き合った時、皆が同じ立場で自由な発想で意見を出し合いたいとき、ワールドカフェは有効なグループワークの方法です。



ワールドカフェとは

- リラックスした雰囲気の中で、
 - 少人数に分けたテーブルで、
 - 自由な対話を行い、
 - 他のテーブルとメンバーをシャッフルして、
 - 対話を続けながら、
 - 参加する全員の意見や知識を集めることのできる対話手法の一つです。
- 音楽、花、お茶、お菓子など、準備することも有効です。

ワールドカフェのエチケット

- 対話を楽しみましょう
- 話をよく聴きましょう
- “質問” をして広げましょう
- 否定しないで受け止めましょう
- リラックスしましょう
- アイディアや思いついたことを書く！描く！つなぐ！
- テーマに集中しましょう

ワールドカフェの進め方

- **第1ラウンド テーマについて探求する**
 - 4人ずつテーブルに座って、問いについて話し合う
 - 模造紙には自由に話し合ったこと、気づいたことを書き込む
- **第2ラウンド アイディアを他花受粉する**
 - 各テーブルにホストだけを残し、他のメンバーは旅人として別のテーブルに移動する
 - 新メンバーで自己紹介し、ホストが自分のテーブルでの対話を紹介し、旅人は、自分のテーブルのアイディアを紹介し繋がりを探求する
- **第3ラウンド 気づきや発見を統合する**
 - 旅人が元のテーブルに戻り、旅で得たアイディアを紹介し合い、対話を継続する
- **第4ラウンド 集合的な発見を収穫し共有する**

第1ラウンドの前に

- **アイス・ブレイキング**・・・グループワークの前に、メンバー皆の緊張をほぐしましょう。ちょっとした趣向で楽しく話せる雰囲気を作ることができます
- **事前課題**（「自分の地域における地域医療計画を把握して、地域における訪問看護の課題を抽出する」）について、共有しましょう

「私たちの地域における、訪問看護
の量的・質的確保に関する課題は、
これだ！」

ワールドカフェのテーマをこれにしました。

気づいたことを書き出して共有しましょう

- 話し合いを通して、自分が気づいたことをポスト
イットに書き出そう
- 気づきは文章で書こう。単語ではだめです
- ポストイットを1枚ずつ説明しながら、模造紙に
張ってみよう
- 全体を眺めて、またディスカッションしましょう

グループワーク②

グループワークのテーマ

「〇〇地域の訪問看護推進活動の方策を、わたしたちはこう考える！」

次のことを整理しよう

1. 地域の課題は何か
 2. 目指すべきゴールを設定する
 3. ゴールに向かって何をするのか
 4. 誰に対して、どのような働きかけを行うのか
 5. その際に配慮するポイントは？
 6. 資料を提示するとしたらどのようなもの？
 7. 残された課題は？
8. 以上をポスターにまとめてみよう！

クロスグループで他のグループと共有しよう

1. グループの中で、順番に背番号を決めよう
 2. 背番号ごとに新しいグループを編成しよう
 3. 新しいグループで、ポスターセッションに出かけよう
 4. 気づいたことがあれば、ポストイットにメモをしてポスターに貼り付けよう
 5. 一回りしたら、自分のグループに戻ってポスターを見直そう
6. どうでしたか、何かできそうですか

クロスグループは、初めのグループを再編して、複数のグループメンバーが新たなグループを作ります。新しいグループで、ポスターをラウンドします。自分が作ったポスターの前に来たら、その人が、新しいメンバーに説明してあげましょう。

この方法は、参加者のすべてが発表者になるため、考えること、まとめること、書くこと、発表することといったグループワークの各要素を、分担することなく、参加者全員が経験することのできる方法です。

ポストイットを通じてフィードバックされることも、楽しみの一つです。

正解のない課題に向き合うとき、できるだけいろいろな考えを持った人々が出会い、対話することで何か新しいことを発見していくことが必要なプロセスです。

時間がかかります、エネルギーも必要です。自分の時間も使います。しかし、先人たちの話を聞いていると、みなそうやってきているのです。

早道はどうもないようです。

参考文献

- 宇都宮宏子・山田雅子編(2014). 看護がつながる在宅療養移行支援, 日本看護協会出版会.
- 山田雅子他(2014). 映像で感じ、考える、これからの在宅看護論 全5巻 さまざまな看護の実践, ビデオ・パック・ニッポン.
- 吉田千文他(2015). 「地域包括的視点に基づく看護管理学」を探索する, 看護, 76-91.
- 山田雅子他(2015). 特集 地域包括的視点を重視した看護マネジメント“知識編”—お互いの強みを活かし、最後まで安心して暮らせる地域をつくるための知識と実践, 看護管理, 8月号.
- 山田雅子他(2015). 小児から高齢者まで こんなときどうする? 在宅看護 Q&A, メディカ出版.
- 全国訪問看護事業協会(2016). 地域で育てる新卒訪問看護師育成のための包括的人財育成ガイド.

➤ ワールドカフェの進め方についての書籍も多数出版されています。

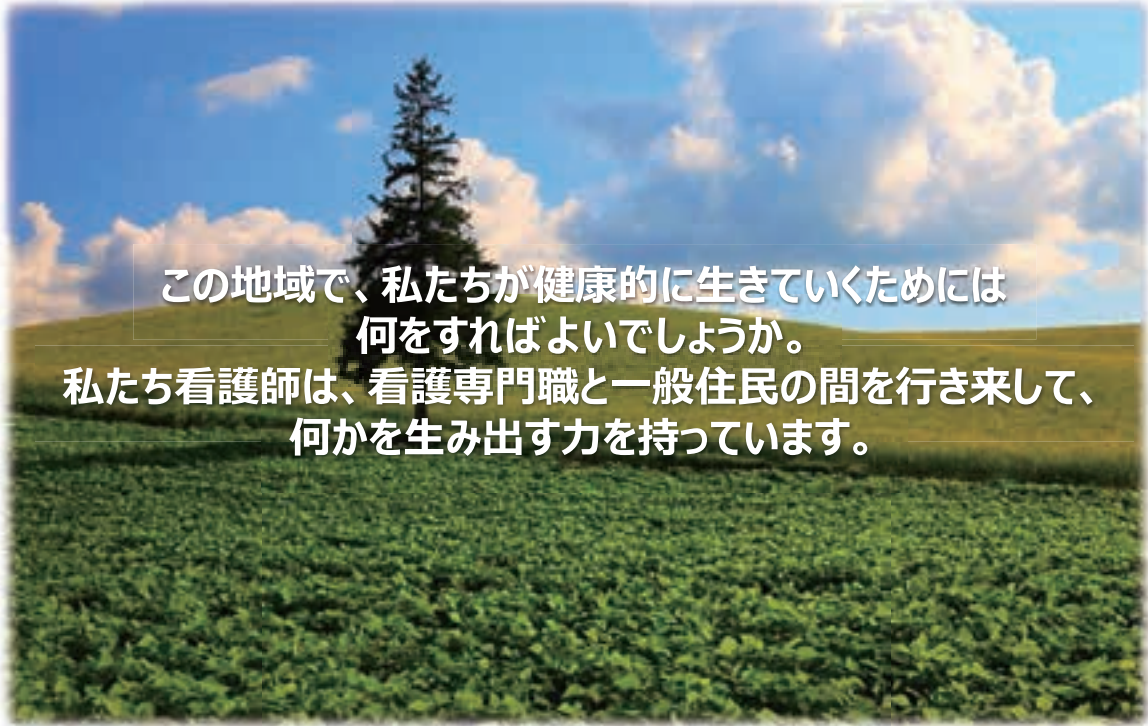
行動計画ワークシート

- このプログラムを終え、あなたはどのような目標を達成したいですか。
1年後、5年後、10年後に向け、具体的に書いてみましょう。

目標	具体的な行動計画(調べたり、話を聞いたりすること / 何かに参加すること / メッセージを発信すること / 何かを始めること)
1年後 2017年	
5年後 2021年	
10年後 2026年	

署名 _____ / 年 月 日

おわりに



推薦文献・Webサイト等

書籍・文献

書籍・文献等名 : 看護がつながる在宅療養移行支援(2014)
著者名 : 宇都宮宏子・山田雅子編
出版社 : 日本看護協会出版会
お勧めの一言 : 病院所属の看護師と訪問看護ステーション所属の看護師が、患者を介して看護をつなげる実践についてそれぞれの立場で書いています

書籍・文献等名 : 映像で感じ、考える、これからの在宅看護論 全5巻 さまざまな看護の実践 (2014)

著者名 : 山田雅子 他
出版社 : ビデオ・パック・ニッポン
お勧めの一言 : 医療者でない人々に、訪問看護を知ってもらうための映像教材です。

書籍・文献等名 : 小児から高齢者まで こんなときどうする? 在宅看護 Q&A

著者名 : 山田雅子 他
出版社 : メディカ出版
お勧めの一言 : スーパー・ジェネラリストである在宅看護を担うナースたちが、自分も困った経験があるテーマを思い出し、これから在宅看護に取り組む皆様に参考にしてほしいと願った1冊です。

書籍・文献等名 : 地域で育てる新卒訪問看護師育成のための包括的人財育成ガイド(2016)

著者名 : きらきら訪問ナース研究会
出版社 : 全国訪問看護事業協会(ホームページからみれます)
お勧めの一言 : 訪問看護ステーションに就職する新卒看護師を、地域の資源を活用して、育て上げるための考え方を示しています。訪問看護師の人材確保の観点から必読書です。

関連 Web サイト等

関連 Web サイト : 東京都訪問看護推進総合事業
URL : <http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/kourei/hoken/houkan/>
お勧めの一言 : 東京都の訪問看護推進部会の進捗についてみるすることができます。